

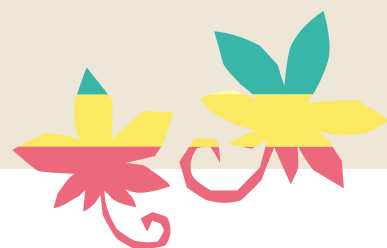
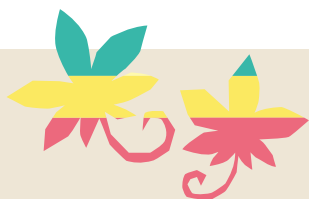


シルバー連合会

第32号

ふくおか

【平成23年11月発行】



公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会



シルバー人材センターに 期待すること

福岡県知事 小川 洋

このたび、福岡県知事に就任しました小川洋です。

私は、県民の皆さんお一人お一人が、福岡県に生まれ、生活してよかつたと実感できる「県民幸福度日本一」の福岡県を県民の皆さんと一緒につくりたいと思います。

シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の皆さんの「働きたい」という気持ちに配慮するとともに、地域のさまざまな需要に配慮し、地域社会にとつてかけがえのない存在となっております。

会員数2万8000人、年間受注額107億円と大変な業績をあげておられ、生田会長をはじめ関係者の皆さんの熱意とご尽力に心から敬意を表します。

わが国は、戦後、国民が一丸となって努力を重ね、医療や福祉・介護制度を整え、世界一の長寿国を実現させました。まさに人類の夢の実現であり、慶賀すべきことであります。われわれは、次のステップとして、豊かな新しい長寿社会を築いていかなければなりません。

国連が高齢者を65歳と定義したのは昭和31年のことです。この年の日本人の平均寿命は65歳でした。しかし、半世紀を経た今、わが国の平均寿命は83歳となりました。

何より、多くの高齢者は元気で能力も高く、働きたい、社会貢献がしたい、という意欲に溢れています。

福岡県では、こうした高齢者の気持ちに答えようと、年齢に関わりなく70歳になっても働いたり、ボランティア活動に活躍したりできる選択肢の多い社会、「70歳現役社会」づくりに取り組んでいるところです。

昨年6月には生田会長にも委員としてご参画いただき、福岡県70歳現役社会づくり研究会を設置しました。この研究会の議論を踏まえ、今年度から具体的な事業に着手するとともに、今年秋には総合支援拠点となる「70歳現役応援センター」を設立します。

この「70歳現役社会」づくりを進めるにあたっては、地域で活躍するシルバー人材センターの皆さんのご協力が不可欠です。地域での就労を希望する高齢者の受け皿として重要な役割を果たしていただきたいと考えています。どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

福岡県シルバー人材センター連合会および各地域のシルバー人材センターの皆さんのますますのご活躍とご健勝を心からお祈りいたします。



会長就任に当り

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

会長 生田 征生

平成23年度定時総会において、公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会会長に再選されました、生田征生です。よろしくごお願い申し上げます。

さて、1期目は、政府の行政刷新会議の2度に渡る事業仕分けで、シルバー人材センター（以下「センター」という。）について仕分けが行われ、そこで議論されたコメントに憤慨するとともに対策に迫られ、会員の皆様のご協力も得て補助金の減額の見直しを求め、2度に渡る署名活動や、政党への陳情等、自治体からの補助金減額も併せて考え奔走しましたが、結果は平成21年度予算の1/3縮減の完全実施でした。各センターの財政等への影響を思うと、常日頃からの広報・啓発活動の重要性を痛感することとなりました。

また、去る3月11日の東北地方で発生した大地震と大津波の被害は想像を絶するものでした。被災した方々へお悔やみを申し上げます。シルバー関係者や事務所にも多大な被害が生じています。全国のセンターはいち早く支援の手を差し伸べ全シ協をとおして被災地の連合会へ義援金を送りました。今後、国を始めとする行政庁の早期の対応と援助で、1日も早い復旧・復興を心から祈念する次第です。

この大震災の影響で東京電力、福島第一原子力発電所の壊滅的な被害で放射能漏れが発生、福岡県民のみならず全国民に衝撃を与え、多岐の影響が案じられます。着実な収束が望まれるところです。

このようななか、各センターは、公益社団法人移行申請に向けて、作業が進められています。連合会は公益法人移行を認められた経験を生かし、移行申請について指導・相談等で強力に支援しスムーズに移行できるように努めることとしています。

シルバー人材センターが様々な課題を抱えながら転換期を迎え、非常に厳しい運営を迫られ困難な時代に、微力ながら皆様のご協力を得、一生懸命に努める所存です。

今後とも、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくごお願い申し上げます。就任に当たっての皆様へのご挨拶とします。



平成
22年度

第2回定期総会及び 役員研修会の開催

平成23年3月18日午後1時30分、福岡市の「博多都ホテル」において、平成22年度第2回定期総会を開催しました。

総会は、当連合会生田征生会長のあいさつ、来賓の福岡労働局鈴木徹職業安定部長及び福岡県福祉労働部労働局西村栄造局長から祝辞をいただきました。

議長は飯塚市シルバー人材センター大塚邦勝理事長が選任され、議事録署名人として、太宰府市シルバー人材センター西田道博理事長、苅田町シルバー人材センター大

木一孝理事長が指名されました。

議事案件は「第1号議案平成22年度収支補正予算」「第2号議案平成23年度事業計画」「第3号議案平成23年度収支予算」「第4号議案社団法人福岡県シルバー人材センター連合会の公益社団法人移行のための定款の変更の案の一部改正」についての計4議案が提出され、全議案について満場一致で可決承認を得ました。

第2部 役員研修会

定期総会終了後、役員を対象とした研修会を開催いたしました。(有)スタジオパラデイソ緒方歩美氏を講師に迎え、『高齢者の心と体の健康』と題し講演していただきました。

体の健康、心の健康について。その場でできる簡単な運動を取り入れながら、出席者全員がリラックスした雰囲気の中、常に体を動かすことを心がけ、身体の健康を保つことが心の健康にも反映し、長命にも繋がる。」というお話でした。



公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

平成23年度定時総会

平成23年6月28日午後1時から「博多都ホテル」において、平成23年度公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会定時総会を開催しました。公益社団としての初めての総会となります。

定時総会は、生田征生連合会会長のあいさつの後、福岡労働局鈴木徹職業安定部長、福岡県福祉労働部労働局馬場忠久労働局長から祝辞をいただきました。

連合会会長表彰の後、総会の議長糸島市シルバー人材センターの春田整秀理事長が選任され、議事が進行しました。



会長あいさつ

議事案件は「第1号議案社団法人福岡県シルバー人材センター連合会平成22年度事業報告」「第2号議案平成22年度決算報告及び監査報告」「第3号議案平成23年度（平成23年4月1日～平成23年5月31日）事業報告」「第4号議案平成23年度（平成23年4月1日～平成23年5月31日）決算報告及び監査報告」「第5号議案役員を選任」の5議案について、全43個の議決権の決議を得、可決承認されました。また選任された役員による、臨時理事会が招集され会長及び副会長、常務理事の選出が行われました。（選任された理事については、裏表紙の「役員名簿」に記載：最新名簿）

また、平成23年度（平成23年6月1日～平成24年3月31日）事業計画、平成23年度（平成23年6月1日～平成24年3月31日）収支予算、加入団体についての3案件の報告事項があり、各案件について、全会員の了承を得ました。

定時総会終了後、全国連合事務局長会議（報告）及び役職員研修会が開催されました。研修



議長による議事進行

会では、「福岡県シルバー人材センター連合事業推進計画」（3カ年間の短期）の概要について、連合会理事でシルバー事業推進計画策定委員会 青柳四郎委員長（社）田川地区シルバー人材センター理事長から、「混迷した不透明な時代、長期の計画策定は大変困難であることから、短期間（3カ年間）の計画としました。また、国の高齢者施策は高齢者の雇用に重点が移り、シルバー人材センターの位置づけが低下したことを受け、国・県・市町村各々の役割を示し、相互に連携を図るべく方向性を示した内容となっています。今後のシルバー事業については、様々な観点から検討し、組織の在り方等に関し合理的・効率的な運営を目指す必要性について審議・検討した結果です。」と策定過程の概略や計画の趣旨を説明されました。



連合会長表彰

平成23年度安全就業促進大会

平成23年7月22日、大博多ホール（福岡市博多区）において、安全就業促進大会を開催しました。県内42のシルバー人材センターから350名が参加し、安全就業優良センターや安全標語の表彰、事例発表や講演などをおして、参加者全員が「安全就業」に徹する決意を新たにしました。

開会のあいさつ、来賓から送られる奨励の言葉の後、安全就業センターの表彰が行われました。当連合会独自で定めた基準により、事故や怪我なく安全就業に優れたセンターの表彰です。今年度は、古賀市シルバー人材センター、宗像市シルバー人材センター、志免町シルバー人材センター、行橋市シルバー

人材センター、岡垣町シルバー人材センター、田川地区シルバー人材センターの6センターが受賞しました。

安全標語については、今年度257点のなかから、安全標語審査委員会の審査を経て、下記の8点が入選しました。

最優秀賞 安全は声えかけ気をつけ目で確認
優 秀 賞 一寸待て慣れと油断が事故招く
優 秀 賞 この位軽い気持ちで事故のもと
佳 作 安全は基本動作の積み重ね
佳 作 安全はいつも心に危険予知
佳 作 安全は不安要素の排除から
佳 作 これぐらい自信過剰が事故のもと
佳 作 作業前危険を探すミーティング

平山 友三 (社)田川地区 SC
篠崎 奎輔 (社)直方市 SC
加茂 栄一 (社)糸島市 SC
中野 博行 (社)福岡市 SC
山下 孝利 (社)北九州市 SC
淵上 卯 (社)田川地区 SC
堀江 壽子 (社)大牟田市 SC
石橋 眸 (公社)小郡大刀洗広域 SC

受賞者には、表彰状と記念品が贈呈されました。第二部の事例発表では、古賀市シルバー人材センター安全就業推進委員の江尻 憲三氏に「安全就業の取組みについて」と題して発表していただきました。会員自身による「安全意識」の啓発、安全用具の着用の必要性等について事例を交え、大変分かりやすく話されました。

県警博多警察署交通第1課交通総務係長 小林高德氏による交通安全講話では、「死亡事故は、総数として減少しているが半数近くが65歳以上の高齢者であり、夜間や早朝の通行には、明るい服装や反射材などを使用すること、また飲酒運転撲滅や振り込

め詐欺の被害に遭わないよう注意喚起をされました。

記念講演は、社員教育接遇マナー研究所代表 依純子氏が「楽しく働き、楽しく生きる」をテーマにご講演されました。人生とは、自分らしさを追求する旅で、自己実現のプロセスであること、また、最後に“人生は老いない、理想を失うとき、はじめて老いる。”(サムエル ウエルマン)という言葉に参加者に贈られました。

岡垣町シルバー人材センター安全就業推進委員会委員長木原幸雄氏から高らかに力強く安全就業宣言が行われ、盛会のうちに閉会しました。

安全管理は、これ等の要因をつぶさに観察し、解析した結果が対策として反映されているものです。事故を少しでも少なくするには、日常の地道な活動と繰り返し習熟することが基本です。安全就業対策委員会では、基本に立ち返って、たえず問題意識を持ちながら、事故防止に取り組んでまいりたいと考えます。

単独作業が重なる最も事故の発生率が高いとされています。安全意識の啓発、安全管理は、これ等の要因をつぶさに観察し、解析した結果が対策として反映されているものです。事故を少しでも少なくするには、日常の地道な活動と繰り返し習熟することが基本です。安全就業対策委員会では、基本に立ち返って、たえず問題意識を持ちながら、事故防止に取り組んでまいりたいと考えます。

安全第一が提唱されて、すでに百年を経過しており、それだけ安全を管理することは難しいものです。安全管理には、人と物の両面から管理が必要で、特に人の管理は、動作指導から、繰り返し習熟させる慣習的な指導と、心理面の動作点検が必要であります。



連合会安全・適正就業
対策委員会委員長

竹内博孝

事故の撲滅をめざして

平成23年度 シニアワークプログラム技能・介護講習実施計画

シニアワークプログラム事業 高齢者技能講習 受講生募集

この事業は厚生労働省の委託を受けて、就職の為に知識と技術の基本を習得する各種講習を実施しています

受講料無料

平成23年度 11月以降のシニアワークプログラム 技能講習一覧表

地域	講習名	正式回数	地域回数	講習開始日 ~ 講習終了日	申込(2W前)	講習会場	講習日数	受講予定
福岡	社会保険入門	第1回	①	11/15(火) ~ 11/25(金)	11/1(火)	深見ビル	8日	25人
	販売事務	第1回	①	11/28(月) ~ 12/7(水)	11/14(月)	深見ビル	8日	25人
	ビジネスP実務	第1回	①	12/8(木) ~ 12/19(月)	11/24(木)	深見ビル	23日	25人

応募資格 県内在住の、55歳以上の仕事をお探しの方、事前に公共職業安定所での求職登録が必要です。(雇用就業の方は受講できません。)

お申込み 受講ご案内、申込書はおおむね講習開始の2ヶ月前から最寄りの職安、シルバー人材センター等で配布します。なお、当連合会ホームページからでもお申し込みが出来ます。 URL <http://www.fscr.or.jp>

お問い合わせ 公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

TEL(092)623-5656

〒812 0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル8階

FAX(092)623-5677

シニアワークプログラムとは

厚生労働省の委託を受け、55歳以上の高齢求職者を対象として事業主団体等の参画・協力のもと雇用・就業支援のための技能・知識を習得する技能・介護講習を実施しています。

【シニア求人を検討されている企業の方へ】

講習を受講される方は、雇用・就業を希望しています。

応募資格

原則として55歳以上で仕事をお探しの方雇用・就業中の方は応募できません。受講希望者は公共職業安定所での求職登録が必要です。



講習期間及び会場はシルバー人材センター連合会、公共職業安定所、最寄りのシルバー人材センターにお問い合わせ下さい。

また当連合会ホームページにも掲載しております。URL <http://fscr.or.jp> よりシニアワークプログラムへ

高齢者を採用するメリット

若い人に比べて経験、知識が豊富です。
若い社員(職員)の勉強になります。
人件費が比較的安くてすみます。
社会経験を積んでいるので仕事に慣れるのが速く、忍耐力があります。
採用条件によっては、国から助成金があります。



シニアワークプログラム修了者数の推移

技能講習(長期、連合短期)修了者

受講者別	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般	516	690	393	550	572
SC会員	101	230	111	145	155
合計	617	920	504	695	727

介護講習(長期、連合短期)修了者

受講者別	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般	109	93	70	38	30
SC会員	33	46	28	12	15
合計	142	139	98	50	45

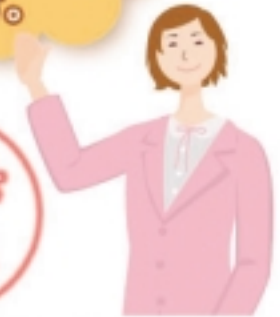
厚生労働省福岡労働局委託事業

シニア就業支援プログラム事業のご案内

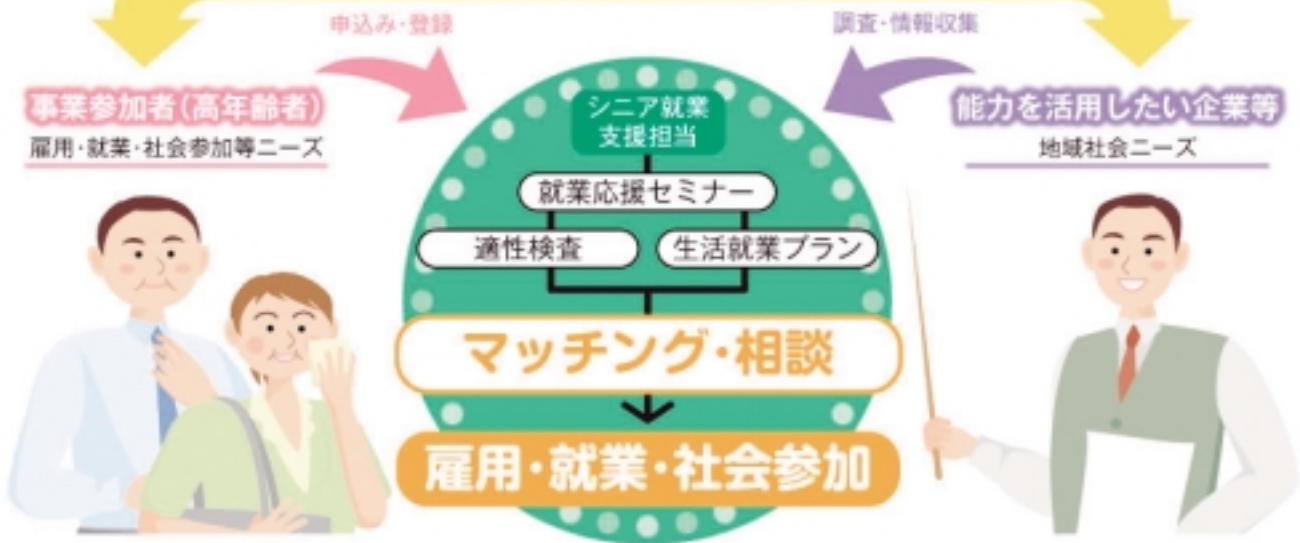
「シニア就業支援プログラム事業」は、
定年退職者や離職予定者で、雇用・就業・社会参加を希望する
55歳以上の高齢者の方を対象としています。

仕事や社会参加でもっと自分を活かしたいと考えておられる高齢者の
皆様と、企業・団体・地域が求める人材をマッチングして、高齢者の雇用・
就業・社会参加を応援していきます。高齢者の皆様が培ってきた技能・知
識・経験を新たな環境で役立ててみませんか？

ご登録を
お待ちしております
無料



雇用・就業・社会参加・求人ニーズの開拓・情報提供



就業応援セミナー予定表

地域	期日	時間	会場	内容	定数
北九州	11月29日(火)	13:30～16:30	北九州市 sc 西部支所	セカンドライフでの税務対策	50
福岡	12月7日(木)	13:30～16:30	福岡センタービル 10階	セカンドライフでの税務対策	50
福岡	1月17日(火)	13:30～16:30	福岡センタービル 10階	再就職に向けての心構えと準備	50
北九州	2月7日(火)	13:30～16:30	西日本総合展示場	再就職活動のポイント	50
福岡	2月16日(木)	13:30～16:30	福岡市	再就職活動のポイント	50



ワークショップ予定表

地域	期日	時間	会場	内容	定数
筑後	11月17日(木)	10:30～14:00	『にじの耳納の里』	みそ作り・米粉ビザ作り他	30
筑後	11月24日(木)	10:00～15:30	糸島市シルバー人材センター	障子・襖はり体験	30
筑後	11月25日(金)	13:30～16:00	柳川市立大和公民館	造園講座	30
筑後	12月21日(木)	10:30～14:00	『にじの耳納の里』	収穫作業・もちつき体験	30
福岡	1月20日(金)	13:30～15:30	早良市民センター視聴覚室	農業を始めるにあたって健康な土作り	30



公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会 平成23年度 役員名簿

平成23年度定時総会において選任された役員です。よろしくお願いいたします。

役職名	氏 名	所 属	備考
会 長	生 田 征 生	社団法人福岡市シルバー人材センター理事長	重任
副 会 長	西 村 博	社団法人北九州市シルバー人材センター理事長	重任
常務理事	猪 口 紘 芳	公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会事務局長	重任
理 事	高 田 澄 男	社団法人柳川市シルバー人材センター理事長	重任
理 事	石 川 憲 彦	社団法人宮若・小竹シルバー人材センター理事長	新任
理 事	里 見 忠 輔	公益社団法人春日市シルバー人材センター理事長	新任
理 事	園 靖 則	社団法人古賀市シルバー人材センター理事長	新任
理 事	竹 内 博 孝	社団法人行橋市シルバー人材センター理事長	新任
理 事	村 松 正 文	社団法人久留米市シルバー人材センター理事長	新任
理 事	井 形 陽 一	社団法人大牟田市シルバー人材センター理事長	重任
監 事	大 木 一 孝	社団法人苅田町シルバー人材センター理事長	新任
監 事	清 武 治 美	社団法人筑前町シルバー人材センター理事長	重任

平成23年11月1日現在

編 集 後 記

今年度は、公益社団法人として新しいスタートを切りました。新しい船出です。

昨年、一昨年とシルバー人材センター事業は行政刷新会議による事業仕分けに遭い、国からの支援が大幅に削減されました。厳しい財政状況は、シルバー人材センター事業もリーマンショック以降、不況のあおりを受け、契約高や受注高が落ち込むなか、大変ショックの大きい、さらに苦境に立たされる結果となりました。

事業仕分けをうけ、各センター、連合会ともに事務の効率化、経費の削減などに取り組み、なんとか運営が続けていますが、今以上の縮減が行われると、今後運営ができなくなる可能性もあります。もちろん、ガバナンス（内部統制）とコンプライアンス（法律の遵守）は当然のことであり、適正な契約や会計処理、民業圧迫という厳しい批判を受けられないよう努力を重ねていくことは大切です。しかし、シルバー人材センターが今日まで培ってきた、高齢者の就業機会づくりと地域社会への貢献という実績は、胸を張って良いものと思います。公益社団の認定を受けたいま、県民の方々にお一層ご満足いただけるよう、また、多種多様なご要望にお応えできるよう、役員、事務局員を挙げて努力していきたいと思えます。

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

〒812 0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8階
TEL092 623 5656 FAX092 623 5677
(URL) <http://www.fscr.or.jp>